

ビリングス湖流域環境改善計画【ブラジル】

施策所管局課 国別開発協力第二課
評価年月日 令和2年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ブラジル連邦共和国
(2) 案件名	ビリングス湖流域環境改善計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	サン・ベルナルド・ド・カンポ市（SBC 市）ビリングス湖北部流域の下水道を整備することにより、汚水の流域外移送の実現及び湖水の水質汚濁の防止を図り、もってサンパウロ大都市圏の上水供給源の水質改善、流域住民の生活環境の向上、及び周辺の自然環境の保全に寄与するもの。 案件の内容 ・ 下水道幹線管渠整備及び面整備 ・ ポンプ場の建設 ・ 環境センターの建設 ・ コンサルティングサービス ア 閣議決定日：平成 21 年 7 月 14 日 イ 供与限度額：62.08 億円 ウ 金利：1.2%（コンサルティングサービスについては、0.01%） エ 償還（据置）期間：25（7）年 オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 国内最大の人口を擁するサンパウロ州では、ビリングス湖はサンパウロ都市圏の主要な水源であるが、湖流域住民の生活排水が同湖に流れこむことに起因する水質汚染が激しく、上水の水質確保及び汚染対策として下水道整備が喫緊の課題であった。加えて、本事業計画当初、SBC 市事業対象地域における下水道接続率は 76%、汚水処理率はわずか 37%であり、このような状況への対応が急務となっていた。現在も、本計画の未完成をうけ、対象地域の下水接続率及び汚水処理率は改善していないため、本計画実施により、サンパウロ大都市圏の上水供給源の水質改善、生活環境の向上及び周辺の自然環境の保全が引き続き見込まれ、本事業に関する社会的ニーズが引き続き高い。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 事業開始後サンパウロ都市圏において未曾有の渇水が生じ、本事業実施の中断を余儀なくされた。また、同時に経営難に陥る施工業者が相次ぎ、契約のやり直しのための調達手続に時間を要する事態が生じた。現在、スケジュールに遅れはありつつも事業は順調に進捗している。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初見込まれていた効果発現が期待できる。事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索

	(https://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料
--	---